

「平和大通りの利活用のためのワークショップ」通信 第2号

日 時：令和4年10月1日(土)14:30～17:30
場 所：（フィールドワーク）平和大通り（鶴見橋西詰～緑大橋東詰）の緑地
（意見交換）合人社ウエンディひと・まちプラザ 研修室ABC
参加者：フィールドワーク 52名、意見交換 54名

この度は、「平和大通りの利活用のためのワークショップ」（第2回）にご参加いただきありがとうございました。
本通信では、このワークショップの結果の概要についてお知らせします。

ワークショップとは？

参加者が自らの考え方や意見を語り、相互の意見から何かを学び、新たな考えを生み出す意見交換の場です。
本ワークショップでは、沿道の町内会、地区社会福祉協議会、商店街組合、平和活動団体の代表者の方々や平和大通りの利活用に関心のある市民の方々、本事業の関係課の担当職員などが意見交換を行い、考え方を共有しながら、通りの魅力や価値を高める利活用や施設の整備内容などを考えます。



1 ワークショップの流れ

第1回
(8/31・済)

【テーマ】
・先進事例を知る
・意見を発散する

第2回
(10/1)

【テーマ】
・現地を知る
・意見を発散する

第3回
(11/30)

【テーマ】
・整備イメージを考える
・意見を集約する

第4回
(1月中旬)

【テーマ】
・整備イメージをより良くする

2 フィールドワーク

平和大通りの「生かしたいところ」「改善したいところ」「この場所でこんなことをしてみたい、こんなことができそうだ」「こんな施設があると良い」などについて、現地を歩きながら確認しました。

- （フィールドワークの範囲）
A班：鶴見橋西詰～中央通り交差点（北側の緑地）
B班：鶴見橋西詰～中央通り交差点（南側の緑地）
C班：中央通り交差点～平和大橋東詰（北側の緑地）
D班：中央通り交差点～平和大橋東詰（南側の緑地）
E班：平和大橋西詰～緑大橋東詰（北側の緑地）
F班：平和大橋西詰～緑大橋東詰（南側の緑地）



3 意見交換のまとめ

第1回ワークショップでまとめた「理想の平和大通りのイメージ」を念頭に、フィールドワークを踏まえた区画ごとのアイデアについて意見交換を行いました。各班で出たアイデア等は2ページをご覧ください。

	理想の平和大通りのイメージ	利活用のアイデア	利活用のための整備のアイデア
鎮魂	①平和が感じられる通り	・知る・学ぶ機会の提供 ・平和を学ぶイベントの開催（被爆樹木周辺での開催）	・慰霊碑等の周辺の景観整備、慰霊碑等の総合案内板及び説明板（QRコード付）の設置、石燈籠を活用した光の道の整備
	②歴史が感じられる通り	・愛宕池を活用したイベントの開催（プロジェクションマッピング等）	・平和大通り等の歴史を伝える説明板の設置、広島を伝える絵の設置、戦前の街並み等の資料館や物産館の設置、愛宕池のライトアップ
憩い	③ゆったりとくつろげる通り	・休憩・憩い・くつろぎ・読書・屋外ワークの場の提供 ・樹木を活用したイベントの開催（ソリークライミング等）	・休憩広場（芝生広場（芝生の張り替え））の整備 ・テーブル・イス（寝そべりチェア等）・ベンチ（長いベンチ、可動式のベンチ）・ソファ・屋根・東屋の設置、高木のせんだい ・樹木の保全（保全エリアの設定、樹木の間引き、土壌改良）
	④食事や風景を楽しめる通り	・休憩・憩い・交流・くつろぎ・飲食の場の提供 ・食のイベントの開催（朝市、マルシェ、ビアガーデン） ・花の観賞の場の提供	・カフェ等（休憩・憩い・交流・情報発信の拠点施設、広場と一体となった施設、オープンテラス併設）、コンテナ、キッチンカー、屋台、自動販売機の設置 ・テーブル・イス・屋根の設置 ・園路沿いの花壇の整備、バラ園の拡充
にぎわい	⑤子供が遊び学べる通り	・子供の遊び場の提供 ・子供を対象としたイベントの開催（写生大会）	・遊具（木製遊具）の整備、樹林を活用したアスレチックの整備
	⑥人が集いにぎわいのある通り	・定期的なイベントの開催（ヨガ、ダンス、エアリアルダンス、朝の体操、朝市、マルシェ等） ・ピクニック、デイキャンプ、バーベキュー ・芸術鑑賞の場の提供 ・芸術展の開催（芸術作品の展示）	・多目的広場・イベント広場・芝生広場の整備 ・屋根・ステージ（階段）・イベント用の電源設備等の整備、樹木の移植等（イベントスペースの確保） ・芸術広場の整備（展示ブースの設置、沿道ビルのギャラリーとの連動） ・芸術作品の設置、誰もが絵を描けるキャンパスの設置
おもてなし	⑦芸術の発信拠点となる通り	・夜の散策やジョギング ・クリーンキャンペーン	・照明設備の充実、中低木の移植等、防犯カメラの設置 ・トイレ等の設置、観光案内所（荷物預かり等）や授乳・休憩等の施設の設置 ・案内サインの充実（QRコード付、デジタルサイネージ）
	⑧明るく安全・安心な通り	・目的性のある休憩や飲食の場の提供 ・目的性のあるイベントの開催 ・話題性のあるコンテンツの提供	・目的性のある休憩広場の整備やカフェ等の設置
回遊性	⑨市民や観光客等がわざわざ行きたくなる通り	・散策・ウォーキング ・樹木ガイドによる樹木観察会、グリーンウォークラリー	・園路の整備（バリアフリー化等）や園路沿いの花壇の整備、ストリートファニチャーの設置 ・ウォーキングコースの整備、樹名板の設置 ・バリエーションのある広場の整備（交流広場、休憩広場等） ・ブロックごとの特徴を踏まえた整備 ・専門家による通り全体のデザイン（現代風のデザイン）等の検討
	⑩通り全体での散策等が楽しめる通り	-	-
	⑪ブロックごとに特徴のある通り	-	-
	⑫都心回遊の拠点となる通り	・比治山公園や平和関連施設への自転車での移動（サイクルコースの設定）	・びーすくろのサイクルポートの整備

3 各班ごとの意見交換の概要

意見の後ろの()内の丸数字は、1ページ目の「2 意見交換のまとめ」の「理想の平和大通りのイメージ」の丸数字に対応しています。

E班（参加者6名）

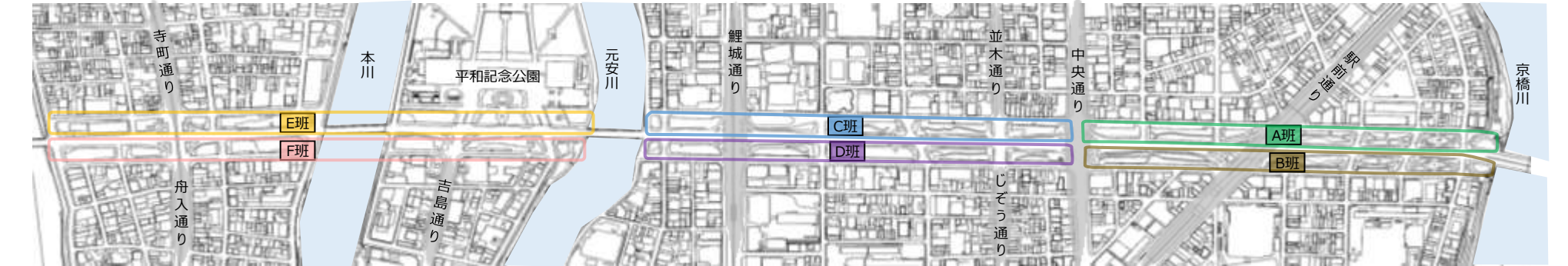
- 慰霊碑周辺の土地がデコボコしており、樹木も美しくないため、景観整備を行う(①)
- 平和記念公園の南東側のヒマラヤスギをシンボルとして活用する(③)
- 平和記念公園の花壇周りの低木が古臭いため、デザインチェンジが必要である(④)
- 遊具があり、高木もあるため、林間風にアスレチックがあれば良い(⑤)
- 簡易的なテントで朝市ができると良い(⑥)
- 芝生がきれいなので、デイ・ナイトキャンプ場を整備できると良い(⑥)
- トイレがあると良い(⑧)
- 案内板をデジタルサイネージにする(⑧)
- 照明が暗いため、照明を設置し、記念碑をライトアップする(⑧)
- 樹名板があると良い(⑩)
- 全体をトータルで考えた方が良い(⑪)
- 現代風なデザインにすれば良い(⑪)

C班（C1班、C2班、C3班）（参加者16名）

- 慰霊碑と石燈籠等の総合案内板があると良い(①)
- 被爆樹木のことを学んだり、それを活用したワークショップ等のイベントができると良い(①)
- 愛宕池を光の池として、プロジェクションマッピングを企画する(②)
- ストリートファニチャーを点をさせて憩いやすい空間にする(③)
- 読書や屋外ワークなど、個人の空間が持てる場所になれば良い(③)
- 樹木を大切にしたいエリアと人が楽しめるエリアとに分ける(③)
- 気軽に利用できるカフェがあると良い(④)
- 自動販売機があると良い(④)
- 緑と花が全体にあると良い(④)
- イベントのための電源設備を整備する(⑥)
- ヘデラや低木等が側道側に密に植えられており、視認性や開放性を高める観点から、せん定や移植などを行う(⑧)
- わざわざ行きたくなるような目的性のあるエリアとする(⑨)
- ブロックの特徴を生かし、にぎわいとくつろぎが交互になるようにする(⑪)

A班（A1班、A2班）（参加者10名）

- 慰霊碑や被爆者の森、供木等をQRコードなどを取り付け、知る・学ぶ機会を提供する(①)
- 被爆者の森を活用し、修学旅行生の学び場として来訪県から寄贈された樹木を訪れてもらう(①)
- 広島を伝えることができる絵があると良い(②)
- 樹木の伐採は必要であり、伐採した樹木を活用して、遊具やベンチ等の整備を行う(③)
- 開放感を生かし、朝はマルシェ、昼はキッチンカー、夜は屋台など、それぞれ異なった顔を見せられると良い(④)
- 子供たちによる写生大会を行う(⑤)
- 定期的なイベントにより、にぎわいが創出できると良い(⑥)
- 屋根があれば、イベント広場(発表の場)として活用できる(⑥)
- 平和大通り全体でアートを設置できると良い(⑦)
- 夜は暗く人通りが少ないため、照明を設置し、全体的に明るくする(⑧)
- 自転車で移動できるよう、サイクルポートを増やす(⑫)



F班（参加者4名）

- 慰霊碑周辺の景観整備を行う(①)
- 慈母の像周辺の整備をすると良い(①)
- 木々が重なりあって、うっそうとしているため、高木をせん定し、木漏れ日が入るようにする(③)
- テーブルとイスを設置すれば良い(④)
- 河原町だけ遊具が設置されていないため、遊具を設置する(⑤)
- バーベキューができたり、テントが張れるようになれば、人が集まる(⑥)
- 照明を設置し、全体的に明るくする(⑧)
- トイレがあると良い(⑧)
- 緑地帯に園路がないところがあるため、散歩できるような園路を新設する(⑩)
- 園路の緑石の玉石が危険であるため、園路を再整備する(⑩)
- びーすくろのサイクルポートや電動キックボード置き場を設置する(⑫)
- 外国人観光客をターゲットとして、自転車で平和記念公園から被服支廠、御幸橋、広電、日赤のコースを設定する(⑫)

D班（D1班、D2班）（参加者13名）

- 慰霊碑周辺の景観整備を行う(①)
- 石燈籠を活用した芸術と平和のストーリーがあると良い(①)
- ゆったりとできる芝生広場を整備する(③)
- 木陰で休憩できるようベンチを増やす(③)
- オープンテラスを併設したカフェなどを設置し、平和大通りらしい景色(ビル群)や花を眺めながら休憩・交流できる場とする(④)
- フラワーフェスティバルの会場にふさわしい花のあふれる通りとする(④)
- にぎわいの観点から、子供が遊べるスペースがあると良い(⑤)
- 広いスペースがあるところでは、朝市など、多目的エリアとして使えると良い(⑥)
- 街灯を増やすよりも、石燈籠を活用し、光の道をつくる(⑧)
- 中低木が密となっているところは、視界が遮られており、防犯の観点から、せん定や移植を行う(⑧)
- 散策しにくくなるようなデザインされた線形の園路とする(⑩)
- 平和大通りの新しいシンボルゾーンとする(⑪)
- 専門の設計家が通り全体のコンセプトやデザインをすると良い(⑪)

B班（参加者5名）

- 石燈籠のマップを作成する(①)
- 平和大通りの歴史を伝える説明板があると良い(②)
- ベンチが今より多く設置されると良い(③)
- 富士見町の日本庭園風の場所に東屋があると良い(③)
- 木々を生かしてツリーイング体験ができるようにする(③)
- 川に近く、水辺に降りることができる場所にカフェを設置すれば良い(④)
- 自動販売機があると良い(④)
- 比治山公園への印象付けとして、ゲート(アーチ)又はシンボリックな歩道橋をつくる(④)
- 広々としたスペースがあるため、遊具を設置したら良い(⑤)
- 芝生のスペースを活用し、朝の体操やヨガ、ピクニック、デイキャンプ、キッチンカーイベント等ができると良い(⑥)
- 半円形の階段を活用したイベントができると良い(⑥)
- 舗装されている広場は、日陰スペースとして、タープを設置できれば良い(⑥)
- フルディックウォーキングコースとして活用する(⑩)
- 樹木ガイドを定例化する(⑩)